



かわいっ子

河合小学校だより
平成30年11月特別号

【教育目標】「他者と共創し、
主体的に学ぶ児童生徒の育成」

河合小児童のスマホ・タブレット使用状況

— 生活状況アンケートから —

10月に児童生徒の生活状況のアンケート調査をしました。このアンケートは、いじめや日常児童が困っていることの把握のために年間5回行っているものです。その中に、スマホやタブレットに関する設問がありますので、結果をお知らせする（裏面）とともに、家庭で気をつけていただきたいことを述べます。

本校では、スマホ・タブレットによるインターネットの使用について、以下の2点から児童生徒へ指導をしています。

1 インターネットには危険が潜んでいる

河合小中学校では、毎年6月にサイバー教室を開催し、児童生徒と保護者がネット社会の危険性を学んでいます。今年の教室では以下のことを教えていただきました。

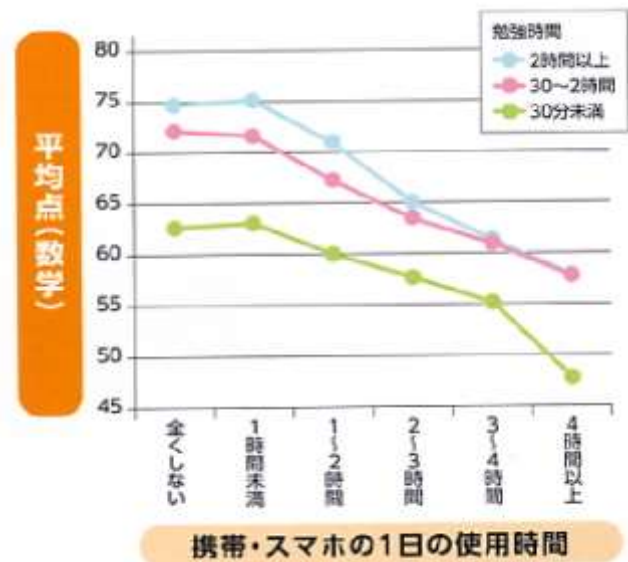
- ・無料アプリ（「ダンス投稿」「無料ゲーム」など）…位置情報や個人情報とらわれている
- ・スマホの適切な設定ができていない場合
SNSのアカウントがばれる、顔も知らない知り合いが増える、個人が特定される
- ・インターネットには匿名性はない
何十年も記録が残る、投稿したのは誰か必ず特定される
- ・一度インターネット上に画像等が流れると、削除することは不可能である
- ・スマホ・タブレットを持っていても使わない我慢が大事である など

2 長時間のスマホ・タブレット使用は学習効果を打ち消す

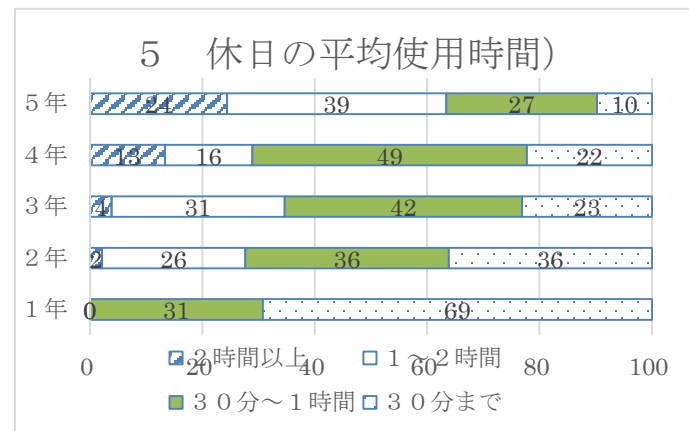
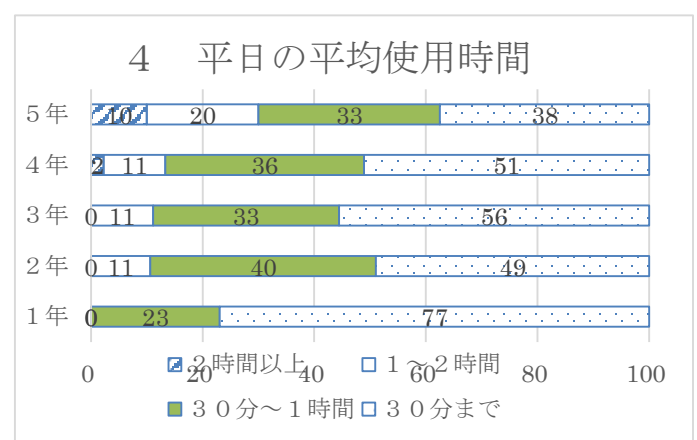
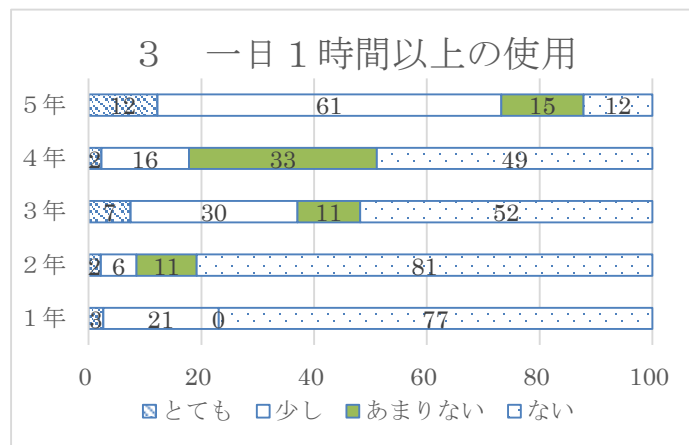
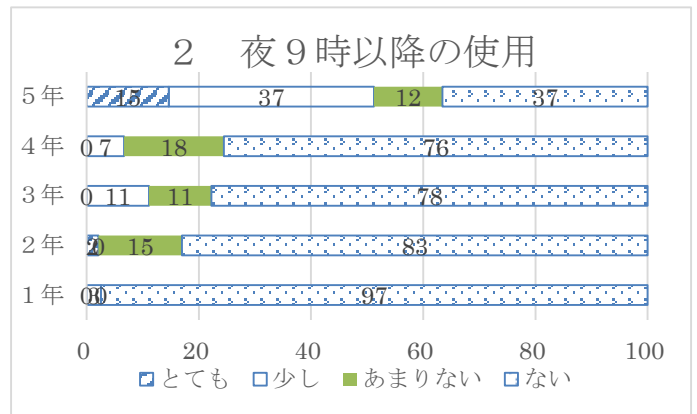
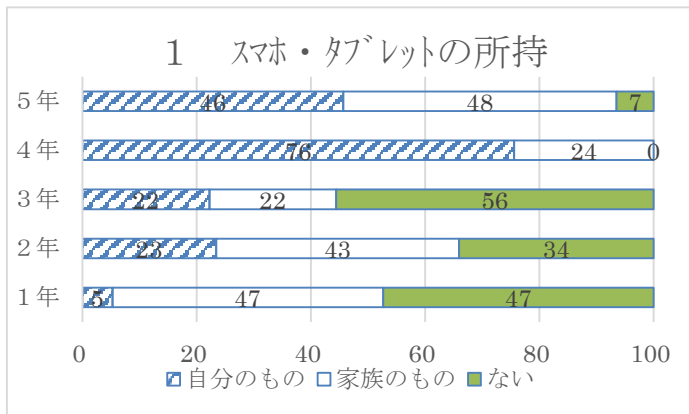
右図は、東北大学 川島隆太教授の脳科学に基づく調査結果を表したグラフです。

まず、勉強時間と平均点の関係ですが、グラフの左端（携帯・スマホを全くしないときの点数）から、勉強時間が長いほど平均点が高くなるのがわかります。

次に携帯・スマホの使用時間と平均点の関係を見ます。使用時間が1時間以上になると、勉強時間に関係なく点数が下がっていきます。と同時に、勉強時間が短い時ははじめの点数よりも低くなります。携帯・スマホの使用が学習したことを打ち消してしまうのです。



児童へのアンケート結果から



家族のものを含めると半数以上の児童がスマホやタブレットを持っていると答えています。学年が上がるにつれ、自分のものを持っている割合が高くなります。

夜9時以降の使用については、「少しする」までを含めると5年生が約半数になり、気になります。

また、学習の効果を打ち消す1時間以上の使用が1年生を除く2～5年生に見られます。休日になると使用時間が長くなる傾向が見られます。「ダンスを投稿し視聴するアプリ」を使って、実際に動画を送った児童もいました。動画とともに、位置情報や他の情報が外部に流れているかもしれません。

お子様の使用状況の把握とともに、被害者・加害者にならないよう約束を守るようにしてください。

〈学校として児童に守らせたい重点4項目〉

- ・夜9時以降はスマホやゲーム機等の通信機器をさわらない
- ・インターネットや通信（動画視聴を含む）は1日1時間以上しない
- ・個人情報（名前・住所・電話番号・メールアドレス・動画・写真など）を発信しない
- ・SNSや掲示板などに、人の悪口は絶対に書かない